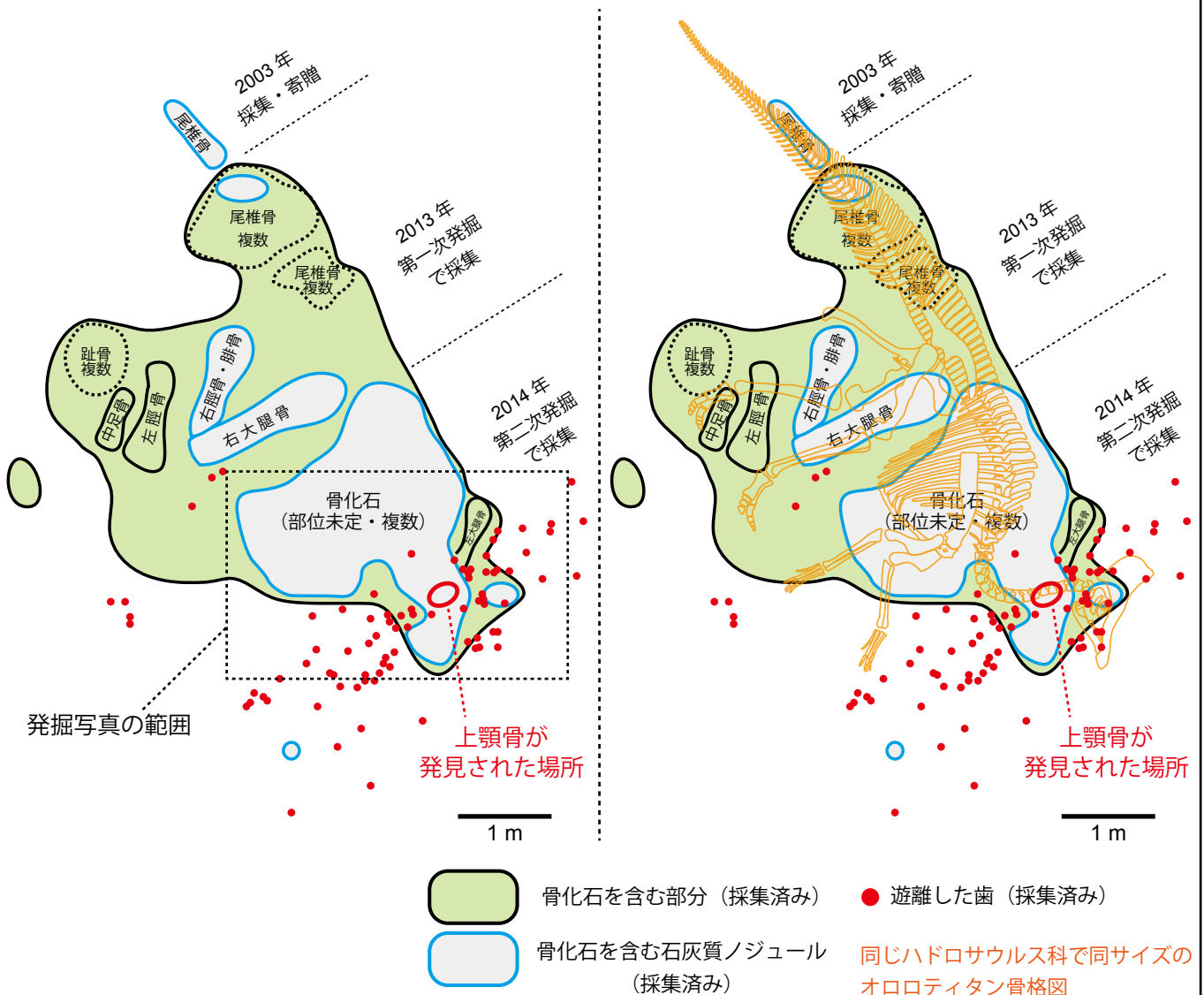


2014年第二次穂別恐竜発掘報告②

ほぼ全身と見られる骨化石入り岩石を採集



産地で発見された穂別恐竜の骨化石の分布および上顎骨と遊離した歯の発見された場所。オロロティタンの骨格無し (左) とあり (右)

2014年の第二次穂別恐竜発掘では、現地での細かい発掘を省略して、化石を地層ごと大きく取り出す方法で作業を進めたため、作業の進行が早く進んだ反面、採集している骨化石の鑑定はそれほど進みませんでした。そのため、正確にはどの部位を採集しているのかは分かりませんでした。

2014年の第二次発掘までに採集した部分の全体像を示したのが上の図です。これまでに採集したのは、骨化石が含まれる7m x 4mの範囲で、これは穂別恐竜の推定されている大きさにほぼ一致します。

第二次発掘で産したのは扁平で不定形の巨大な石灰質ノジュール (石灰分が濃集し、硬くなっている岩石) で、これに多数の骨化石が入っていました。

頭骨の一部（上顎骨の一部）を確認！！



このノジュールの縁（図の下側）を中心に遊離した歯の化石が多産しました。遊離した歯の分布中心の岩石を採集し、早急にクリーニング作業を進めたところ、頭骨の要素である上顎骨の一部が確認されました。他の頭骨の要素についても周辺の岩石中に埋まっていると考えられています。

恐竜化石のクリーニング作業が終了していませんので、断片的にしか分かりませんが、これまでに少なくとも尾の先から、頭骨の一部までが産したことになります。今後もクリーニング作業を進めていくことで新たな発見が続き、最終的には全身骨格が確認されるだろうと見られています。

恐竜化石のクリーニング作業は、穂別博物館で3人体制で、また北海道大学総合博物館でも数名のボランティアの方に進めていただいています。クリーニングには時間がかかるので、最終的にクリーニングが終了するのは5年以上先になると見られています。

学芸員 西村智弘

2014年第二次発掘の発掘ようす。写真中央の部分が扁平で巨大な石灰質ノジュール（9月12日）。



写真中央の黒い部分；上顎骨の一部であることが確認された化石（断面）。

【公共交通機関による来館案内】（バス停「穂別中央」～博物館は徒歩約10分）

往路（札幌・苫小牧方面▶博物館）

- ・新千歳空港 10:40 ①▶穂別中央 12:03
- ・札幌駅 8:10 ②▶むかわ四季の館 9:35 - (乗換) - むかわ四季の館 9:41 ④▶穂別中央 10:45
- ・苫小牧駅 8:00 ③▶鶴川駅 8:29 - (乗換) - 鶴川駅前 9:39 ④▶穂別中央 10:45

帰路（博物館▶札幌・苫小牧方面）

- ・穂別中央 16:17 ①▶新千歳空港 17:40
- ・穂別中央 15:40 ④▶鶴川駅前 16:45 - (乗換) - 鶴川駅 17:24 ③▶苫小牧駅 17:54

①道南バス 新千歳空港直行便 (1,470円) 前日の16時までに予約 (0145-45-2284)

②道南バス 高速ペガサス号 (2,340円) 事前予約 (0146-42-1231)

③ JR 日高本線 (620円)

④道南バス 穂別鶴川線 (200円) ※各料金は大人1人分

12月 休館日

1(月) 8(月) 15(月)
22(月) 24(水) 29(月)
31(水)

1月

1(木・祝) ~ 5(月)
13(火) 14(水)
19(月) 26(月)

町民無料観覧日

1月12日(月・祝)
(成人の日)